

ファンド情報提供映像  
2023年11月  
(データ基準日:2023年9月末)



# 日経平均高配当利回り株 ファンド

追加型投信／国内／株式

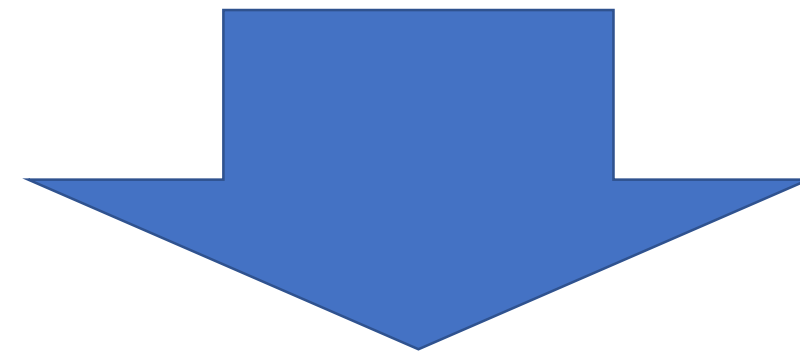
三菱UFJアセットマネジメント

- **本映像内で使用しているデータについては、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりません。**
- **本映像は「日経平均高配当利回り株ファンド」の概略をご紹介したものです。このため、ファンドの商品性、リスク、お申込みメモなどについては投資信託説明書(交付目論見書)をご確認いただく必要があります。**

# 当ファンドのポイント



主として、日経平均株価の採用銘柄の中から  
予想配当利回りの上位30銘柄に投資



配当収益の確保、  
中長期的な値上がり益の獲得をめざす

- 市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

【本映像に関してご留意いただきたい事項】の内容を必ずご覧ください。

# 日経平均株価とは



- 日本経済新聞社が東京証券取引所プライム市場に上場する**1,800社以上の中から225社を選定し**、その株価から算出しています。
- **1950年から算出されている**日本を代表する株価指標です。
- 選定される225社は日本を代表する企業であり、**日本の顔**ともいえます。



# 配当利回りとは



- **株価に対する1株あたり年間配当額の割合**を示す指標のことです。

## 計算式(例)

1株あたり年間配当額

$$\frac{\text{1株あたり年間配当額 (50円)}}{\text{株価 (1,000円)}} = \text{配当利回り (5\%)}$$

- 利益が多くても配当を支払わない場合や、利益が少ない、またはなくても配当を支払う場合があります。
- 配当利回りは株価と配当額の変動に左右されます。
- 当ファンドでは、予想配当利回りを用いています。

【本映像に関してご留意いただきたい事項】の内容を必ずご覧ください。

# 予想配当利回り上位30銘柄に投資

- 日経平均株価採用銘柄の中から、予想配当利回りの上位30銘柄を抽出します。



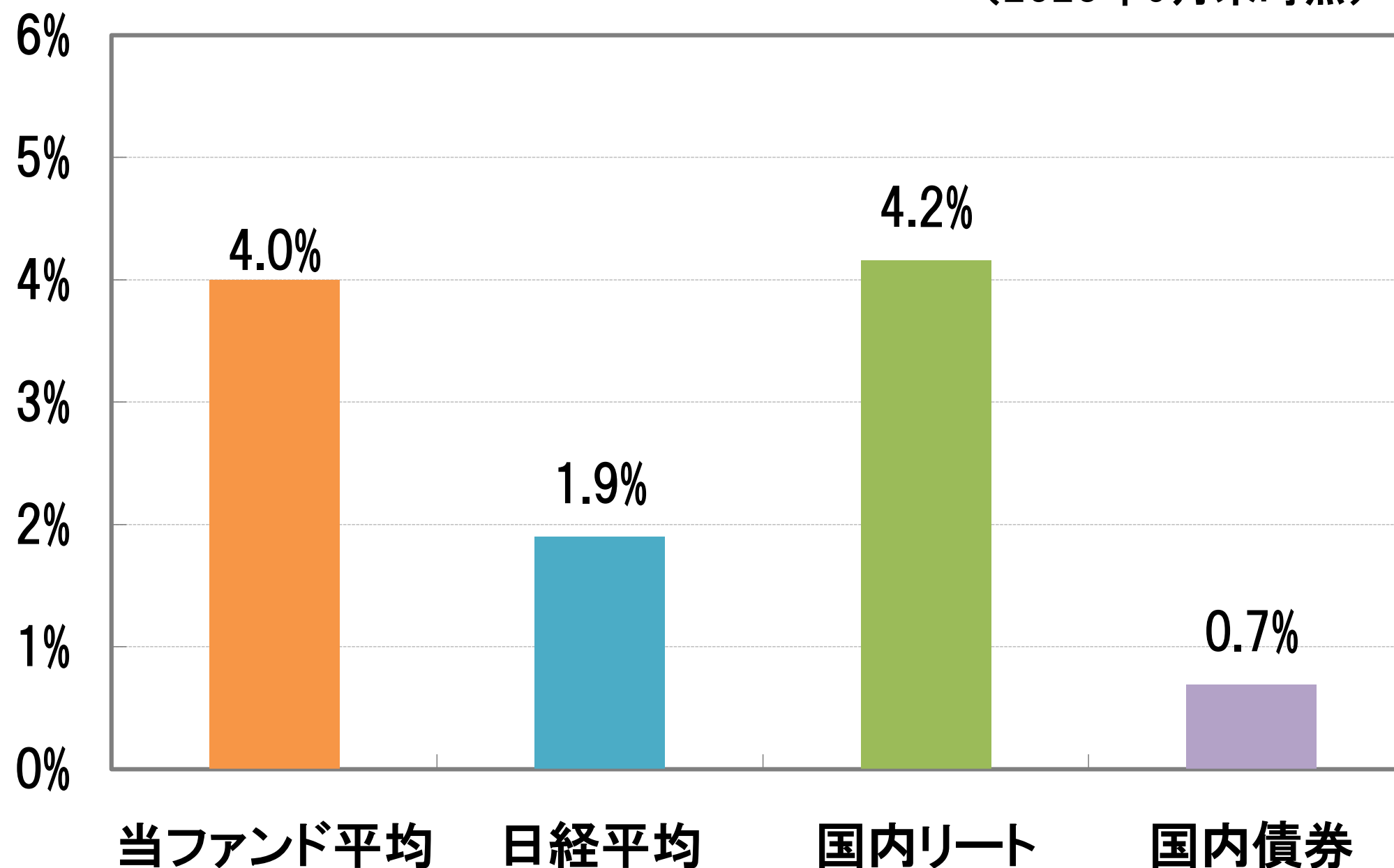
- 信用リスク懸念や無配懸念があると委託会社が判断した銘柄は、投資対象銘柄から除外することがあります。また、当該銘柄を保有している場合は売却し、保有銘柄数は30を下回ることがあります。
- 上記は銘柄選定の視点を示したものであり、すべてを網羅するものではありません。また、実際にファンドで投資する銘柄の将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。
- 市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

【本映像に関してご留意いただきたい事項】の内容を必ずご覧ください。

# (ご参考) 主な国内資産の利回り



(2023年9月末時点)



(出所)日本経済新聞社、不動産証券化協会、Bloombergのデータを基に三菱UFJアセットマネジメント作成

- 各資産は特性が異なるので、利回りだけで単純に比較できるものではありません。
- 「当ファンド平均」は、各銘柄の予想配当利回りを純資産総額に対する組入比率で加重平均して算出したものであり、当ファンドの将来の分配をお約束するものではありません。
- 「日経平均」および「国内リート」は予想配当利回り、「国内債券」は最終利回りを使用しています。
- 「当ファンド平均」以外は指数を使用しています。指数については【本映像で使用している指数について】をご覧ください。

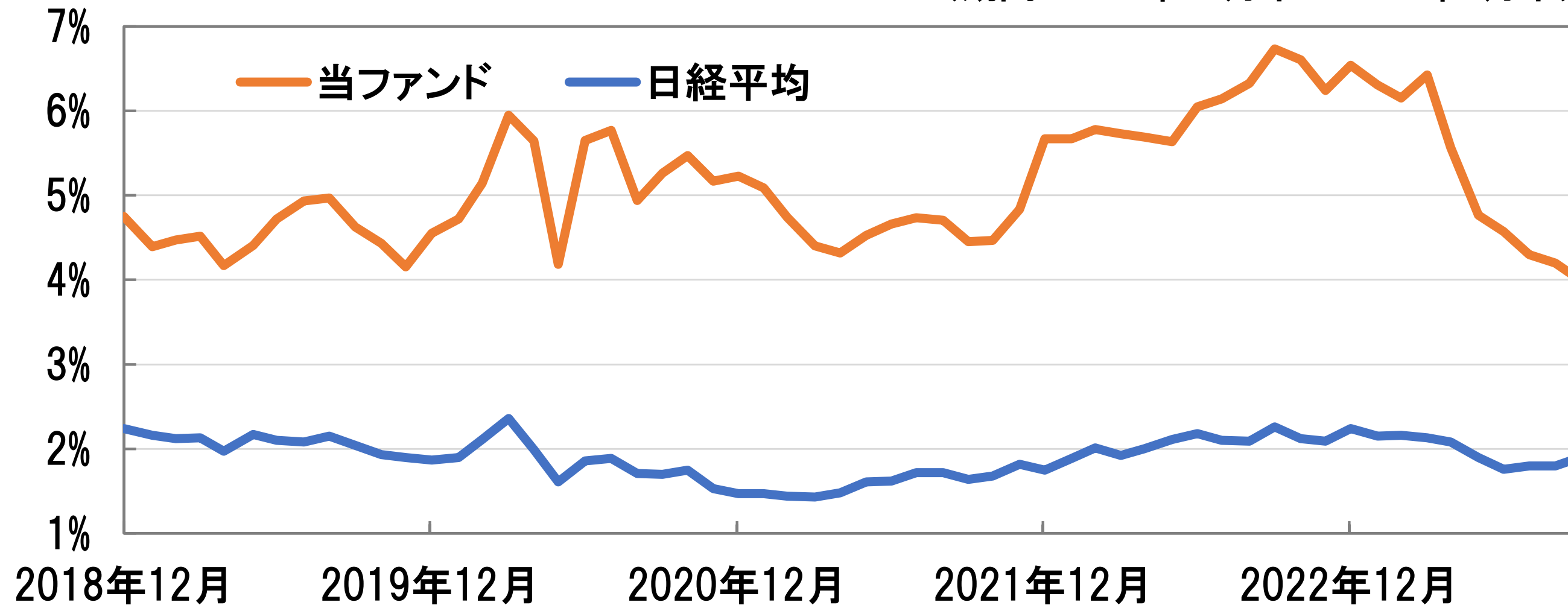
【本映像に関してご留意いただきたい事項】の内容を必ずご覧ください。

# 予想配当利回りの高い銘柄に投資する『効果』



## 当ファンドと日経平均株価の予想配当利回りの推移

(期間:2018年12月末~2023年9月末)



(出所)日本経済新聞社のデータを基に三菱UFJアセットマネジメント作成

- 「当ファンド」は、各銘柄の予想配当利回りを純資産総額に対する組入比率で加重平均して算出したものであり、当ファンドの将来の分配をお約束するものではありません。
- 「日経平均」は、日経平均株価採用全銘柄の予想配当利回りの加重平均です。(指数ベース)

【本映像に関してご留意いただきたい事項】の内容を必ずご覧ください。

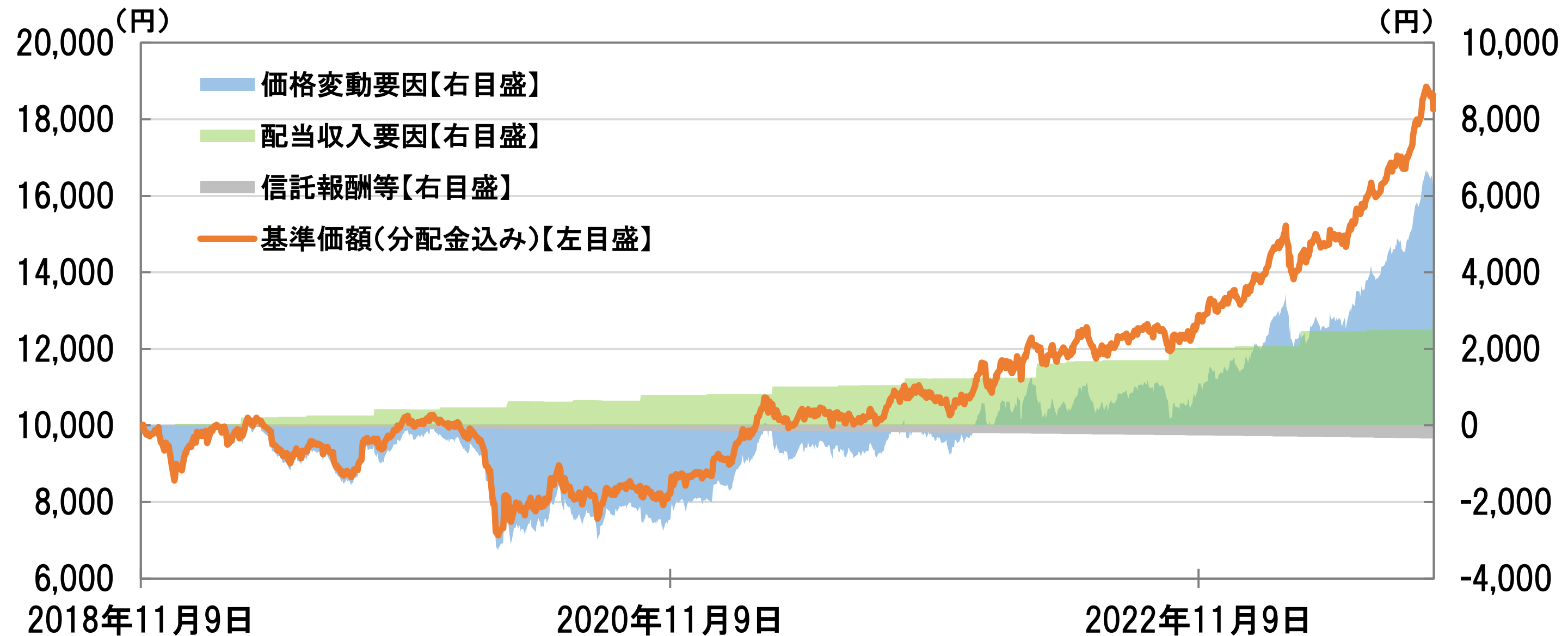


# 予想配当利回りの高い銘柄に投資する『効果』



## 基準価額の投資収益の要因分析

(期間:2018年11月9日~2023年9月29日)



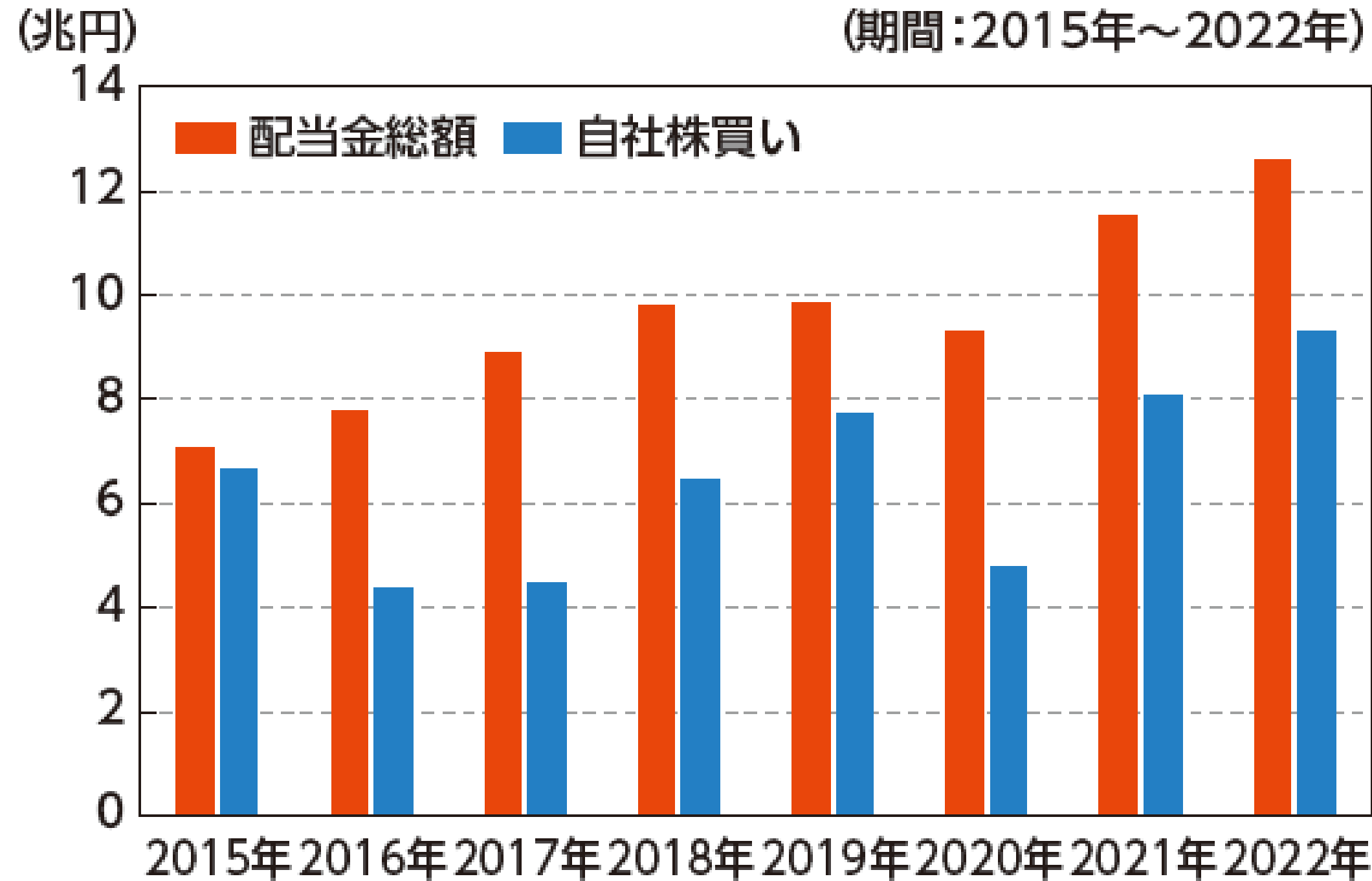
● 上記は基準価額(1万口当たり、分配金込み、税引前)の変動を「価格変動要因」、「配当収入要因」、「信託報酬等」に分け、それぞれを累積したものです。

【本映像に関してご留意いただきたい事項】の内容を必ずご覧ください。



# 配当利回りの高さに関心が集まる主な背景①

## 東京証券取引所上場銘柄の配当金総額と自社株買い実施額



- 配当金総額は年度末、自社株買いは年末のデータです。
- 自社株買いは、実施の決議をした際の取得上限額を集計しています。

(出所)JPX、QUICKのデータを基に三菱UFJアセットマネジメント作成

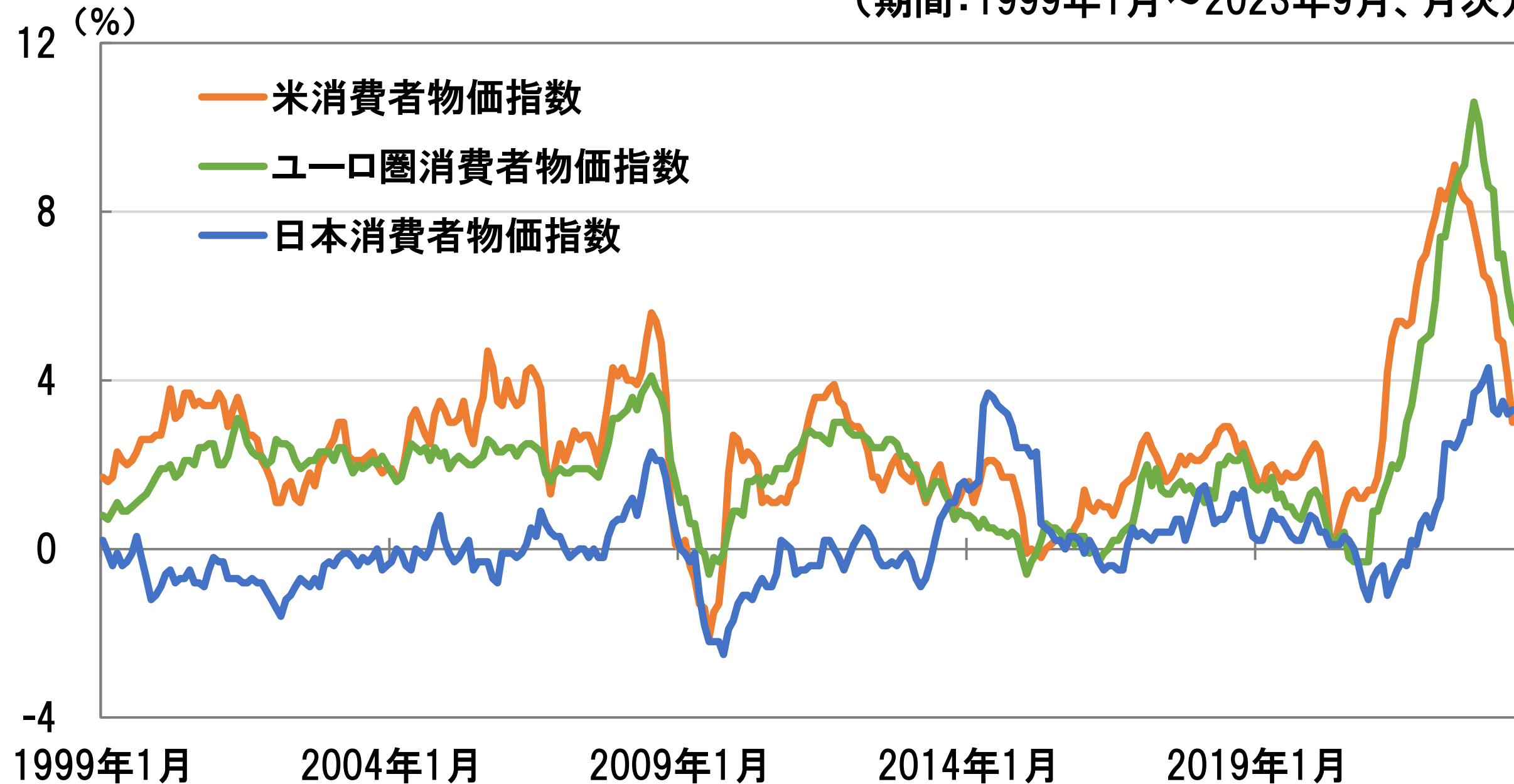
【本映像に関してご留意いただきたい事項】の内容を必ずご覧ください。

# 配当利回りの高さに関心が集まる主な背景②



## 日米欧の消費者物価指数(前年比)の推移

(期間:1999年1月~2023年9月、月次)



(出所)Bloombergのデータを基に三菱UFJアセットマネジメント作成

- 消費者物価指数は、CPI総合(前年比)です。

【本映像に関してご留意いただきたい事項】の内容を必ずご覧ください。

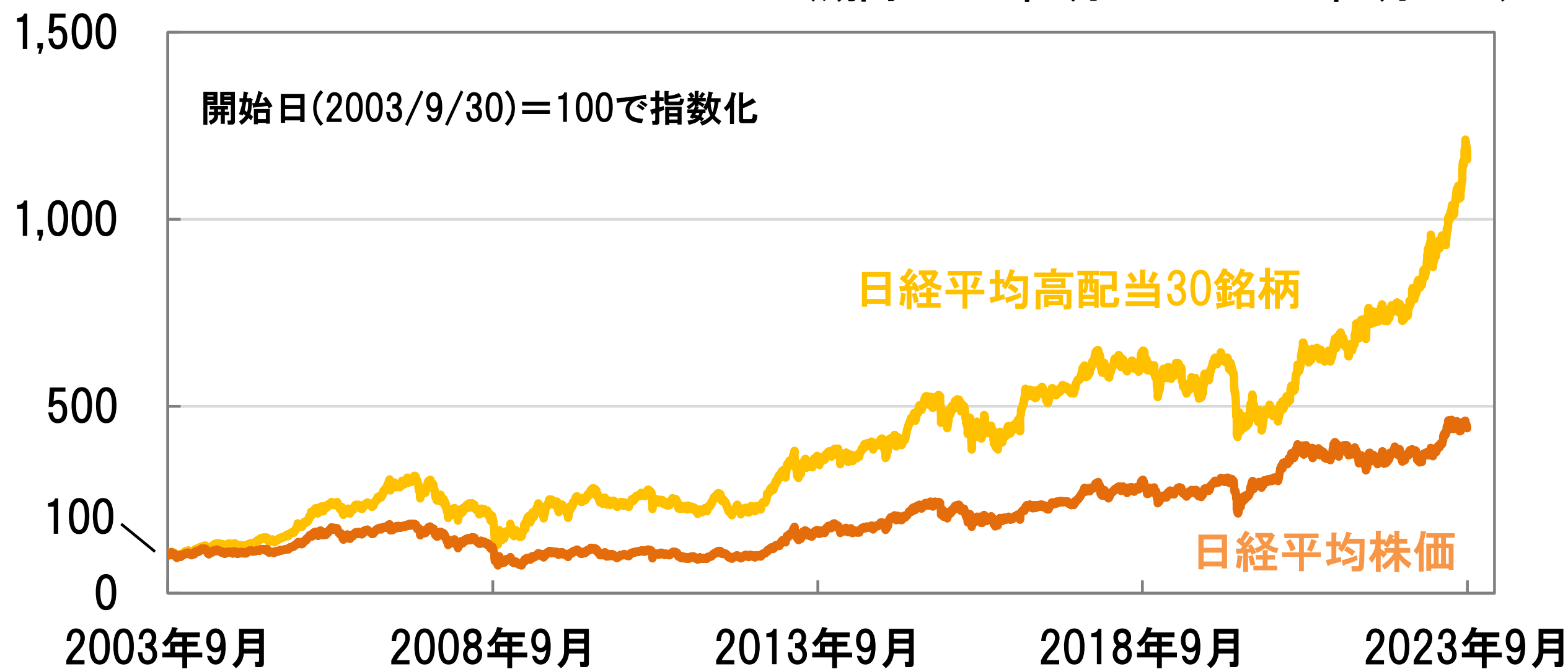
(ご参考)

# 日経平均株価と日経平均高配当30銘柄の投資シミュレーション



- ① 日経平均に採用されている銘柄から、予想配当利回りの高い上位30銘柄を抽出
  - ② 上位30銘柄に均等投資し、配当は再投資、毎年年末に銘柄リバランス
  - ③ 以後、1年毎に上記同様の投資を実施
- ※日経平均は配当込み指数を使用

(期間:2003年9月30日~2023年9月29日)



(出所)Bloombergのデータを基に三菱UFJアセットマネジメント作成

- 上記はシミュレーションであり、実際の運用とは手法等も異なります。したがって、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりません。計測期間が異なる場合は、結果も異なる点にご注意ください。また、日経平均株価は国内株式の値動きをご説明するために表示しており、当ファンドのベンチマークではありません。

【本映像に関してご留意いただきたい事項】の内容を必ずご覧ください。

# 組入上位10銘柄(2023年9月29日現在)



組入銘柄数: 30銘柄

銘柄	業種	比率	(参考) 予想配当利回り
1 川崎汽船	海運業	7.8%	3.9%
2 三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	6.3%	3.2%
3 三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	6.2%	3.4%
4 商船三井	海運業	6.2%	4.4%
5 みずほフィナンシャルグループ	銀行業	5.9%	3.7%
6 日本製鉄	鉄鋼	5.8%	4.3%
7 ソフトバンク	情報・通信業	5.5%	5.1%
8 日本郵政	サービス業	5.4%	4.2%
9 日本たばこ産業	食料品	5.3%	5.5%
10 武田薬品工業	医薬品	5.0%	4.1%

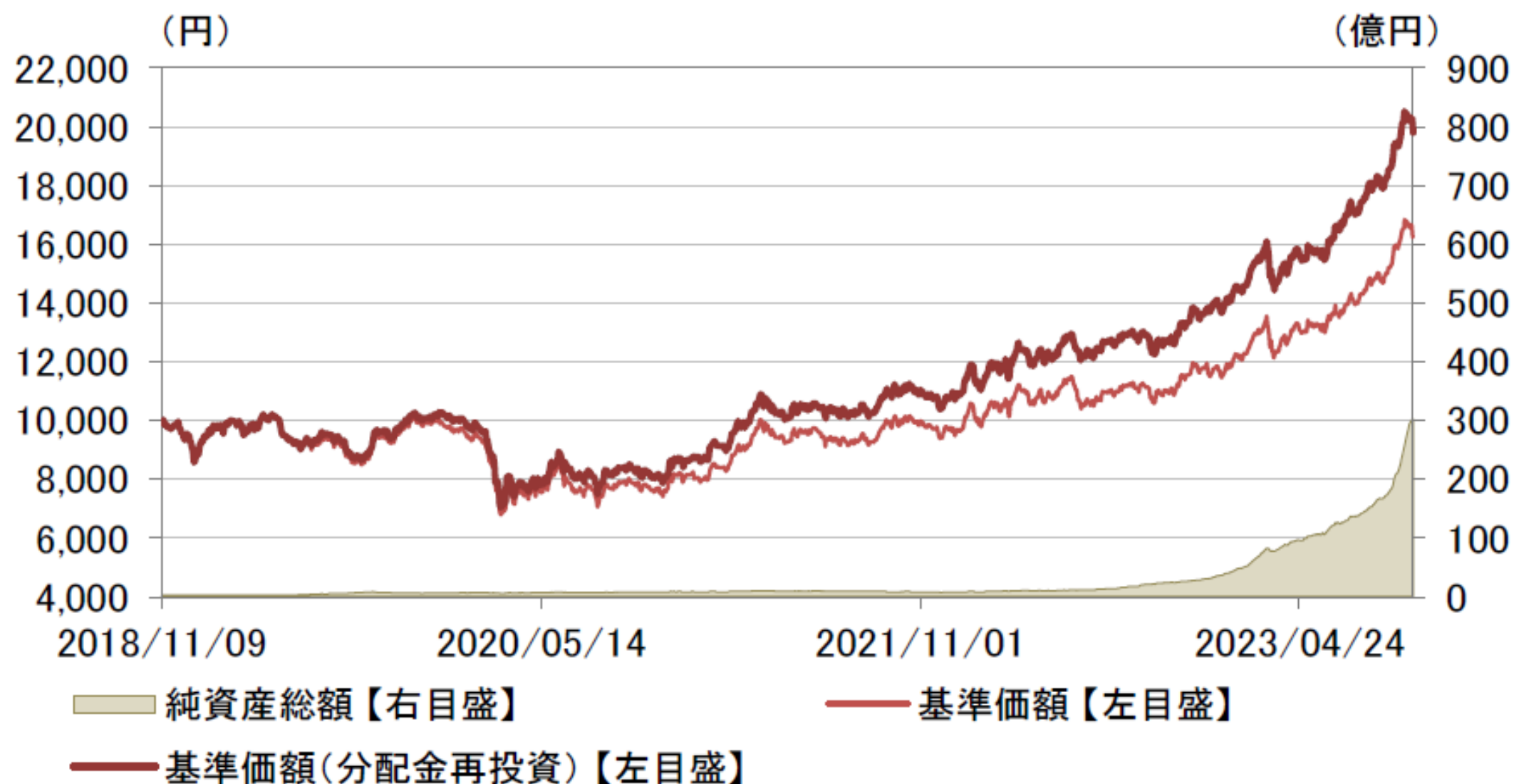
- 表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。
- 原則として、比率は純資産総額に対する割合です。
- 業種は、東証33業種で分類しています。

【本映像に関してご留意いただきたい事項】の内容を必ずご覧ください。

# 当ファンドの運用状況(2023年9月29日現在)



## ■基準価額および純資産総額の推移



- 基準価額、基準価額(分配金再投資)は、一万口当たりで運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。
- 信託報酬率は、後記の「ファンドの費用」に記載しています。
- 基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。

## ■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	6.0%	16.3%	30.2%	61.7%	144.4%	97.9%

## ■【参考】

	ファンド平均	日経平均
予想配当利回り	4.0%	1.9%
ROE	13.1%	9.0%
PBR(倍)	1.0	1.8

- (出所)日本経済新聞社
- 予想配当利回り、ROE、PBRは日経NEEDSのデータを基に算出しています。
  - 「ファンド平均」は、各銘柄の予想配当利回り、ROE、PBRを純資産総額に対する組入比率で加重平均して算出しています。予想配当利回りは当ファンドの将来の分配をお約束するものではありません。
  - 「日経平均」の値は、すべて指数ベースとなります。

- 実際のファンドでは、課税条件によってお客さまごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。
- 設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。
- 分配金実績がある場合は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。

【本映像に関してご留意いただきたい事項】の内容を必ずご覧ください。

# 当ファンドの分配金の計算式



- 当ファンドの分配金の目安も、予想配当利回りをもとに計算することができます。

2023年6月15日(1万口 当たり、税引前)の分配金		基準価額 (1万口当たり)		経費控除後の 予想配当利回り		決算回数
330円	=	13,512円	×	4.907% (予想配当利回り 5.6% - 運用管理費用 年率0.693%(税込))	÷	年2回

- 分配金は、2023年6月15日の実績です。
- 基準価額は2023年6月8日時点、予想配当利回りは2023年4月28日時点の値を使用した分配金の目安の計算式を示しています。分配金は10円単位でのお支払いとなります。
- 運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。
- 分配金の一部ないしすべてが、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- 予想配当利回りは、各銘柄の予想配当利回りを純資産総額に対する組入比率で加重平均して算出しています。よって当ファンドの将来の分配をお約束するものではありません。

【本映像に関してご留意いただきたい事項】の内容を必ずご覧ください。

# ファンドの目的・特色

こちらの画面は一時停止してご覧ください。



## ●ファンドの目的

わが国の株式を主要投資対象とし、主として配当収益の確保および中長期的な値上がり益の獲得をめざします。

## ●ファンドの特色

特色1 わが国の株式を主要投資対象とします。

特色2 主として、日経平均株価採用銘柄の中から、予想配当利回りの上位30銘柄に投資を行います。

特色3 年2回の決算時(6・12月の各15日(休業日の場合は翌営業日))に分配を行います。

・分配金額は委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

※分配対象収益とは、経費等控除後の配当等収益および売買益(評価益を含みます。)等をいいます。

分配金額の決定にあたっては、配当収入(経費控除後)の水準を勘案します。

※分配金額の決定にあたっては、予想配当利回りを用いて配当収入を計算します。

将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

**市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。**

【本映像に関してご留意いただきたい事項】の内容を必ずご覧ください。



# 投資リスク

こちらの画面は一時停止してご覧ください。



**基準価額の変動要因:** 基準価額は、株式市場の相場変動による組入株式の価格変動等により上下します。また、組入有価証券等の発行者等の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の影響を受けます。これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。主な変動要因は、価格変動リスク、信用リスク、流動性リスクです。

上記は主なリスクであり、これらに限定されるものではありません。くわしくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

# ファンドの費用

こちらの画面は一時停止してご覧ください。



## ◎お客さまが直接的に負担する費用

購入時	購入時手数料	購入価額に対して、 <b>上限2.20% (税抜 2.00%)</b> 販売会社が定めます。 くわしくは、販売会社にご確認ください。
換金時	信託財産留保額	ありません。

## ◎お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

保有期間中	運用管理費用 (信託報酬)	日々の純資産総額に対して、 <b>年率0.693% (税抜年率0.63%)</b> をかけた額
	その他の費用・手数料	以下の費用・手数料についてもファンドが負担します。 ・監査法人に支払われるファンドの監査費用 ・有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料 ・有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用 ・その他信託事務の処理にかかる諸費用 等 ※上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

※運用管理費用(信託報酬)および監査費用は、日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。毎決算時または償還時にファンドから支払われます。

※上記の費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。なお、ファンドが負担する費用(手数料等)の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。

# ご留意事項

こちらの画面は一時停止してご覧ください。



## 【本映像で使用している指数について】

- ・日経平均：日経平均株価
- ・国内債券：NOMURA-BPI総合
- ・国内リート：東証REIT指数

本映像中の指数等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。また、発行者および許諾者が指数等の正確性、完全性を保証するものではありません。各指数等に関する免責事項等については、委託会社のホームページ (<https://www.am.mufg.jp/other/disclaimer.html>) を合わせてご確認ください。

## 【本映像に関してご留意いただきたい事項】

- 本映像は、三菱UFJアセットマネジメントが作成した情報提供資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認くださいのうえ、ご自身でご判断ください。
- 本映像の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 本映像は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。
- 投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。
- 投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

■ 投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは



東海東京証券株式会社  
金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第140号  
加入協会：日本証券業協会／一般社団法人金融先物取引業協会  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会  
一般社団法人日本STO協会

■ 設定・運用は

# 三菱UFJアセットマネジメント

三菱UFJアセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号  
加入協会：一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会